

36. 徳島県



3 6 徳島県

A. 医療提供体制の現状

徳島県の特徴は、(1) 全国平均を大きく上回る病床、看護師、全国平均の病院勤務医、(2) 東部Ⅰ（徳島）、南部Ⅰ（小松島）への集中である。

(1) 豊富な医療資源、特に多い療養病床、回復期病床、精神病床

全県を通しての偏差値が病床数（64）、一般病床が（55）、病院勤務医（54）、全身麻酔数（53）、看護師（63）と、病床と看護師は全国平均を大きく下回り、病院勤務医は全国平均をやや上回っている。少ない医師で多くの病床を見ることが出来る病床、すなわち療養病床、回復期病床、精神病床が多いことが、徳島県の特徴である。

(2) 東部Ⅰ（徳島）、南部Ⅰ（小松島）への集中

徳島市と小松島市は隣接し、徳島市には徳島大学、県立病院、市民病院が、小松島には徳島赤十字病院があり、これらの地域は一体のエリアと考えられる。この2つの医療圏に徳島県の75%の人口が集中するが、病院勤務医の83%、全身麻酔の96%が集中している。この2つの医療圏を一体の医療圏と考えるとすると、徳島県は日本で一番の一極集中型の都道府県であり、この地域の医療提供の過剰感が強い。

他の地域の病院勤務医の偏差値は、東部Ⅱ（45）、南部Ⅱ（43）、西部Ⅰ（47）、西部Ⅱ（47）と全国平均を下回り、DPC病院の全身麻酔数も非常に少ない。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(東部Ⅰ)

東部Ⅰ（徳島）には徳島大学があり、徳島県全域から患者が集まってくる。病床数（67）、一般病床数（50）、病院勤務医数（56）、全身麻酔数（55）、看護師数（64）と高い医療資源レベルであるが、現在でも過剰感が強い。2010→35年の徳島県全体の総医療需要が3%減、0-64歳の医療需要が32%減、東部Ⅰの総医療需要が6%増、0-64歳の医療需要が27%減を考えると、急性期医療の提供能力の過剰感が今後更に強まっていくことが予想される。医師養成数の適正化と東部Ⅰで働く医師が医師不足地域での勤務を促す誘導策、高機能病床のダウンサイジングを検討する必要がある。同時に、75歳以上医療需要の48%増加が予想されるため、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

(東部Ⅱ)

東部Ⅱ（吉野川）は、吉野川中流沿いに広がる医療圏である。この地域の偏差値は、病床

数が（59）、一般病床数が（61）、病院勤務医が（45）、全身麻酔数（32）、総看護師数（59）であり、病床数と看護師数が多く、病院勤務医と全身麻酔数が少なく、東部Ⅰ（徳島）への医療依存度が高い。2010→35年の医療の総需要が7%減、0-64歳が38%減、75歳以上が20%増であり、将来に向けて、急性期病床の療養、亜急性期、回復期への転換や高齢者向けの施設・住宅の増強が求められる。

（南部Ⅰ）

南部Ⅰ（小松島）には、徳島日赤病院があり、徳島市や徳島県南部の患者を数多く受け入れている。病床数（56）、一般病床数（63）、病院勤務医数（59）、DPC病院全身麻酔数（69）、総看護師数（62）と高い水準が故に、徳島と一体として考えるならば、急性期医療の提供体制の過剰感が強い。この地域は2010→35年の医療の総需要が8%減、0-64歳が34%減、75歳以上が22%増であり、将来に向けて、一般病床の削減や、療養、亜急性期、回復期への転換、高齢者向けの施設・住宅の増強が求められる。

（南部Ⅱ）

南部Ⅱ（三波町）の偏差値は、病床数（58）、一般病床数（63）、病院勤務医数（43）、全身麻酔数（33）、総看護師数（55）と、と看護師が多く、病院勤務医と全身麻酔数が少なく、南部Ⅰ（小松島）や東部Ⅰ（徳島）への医療依存度が高い。2010→35年の医療の総需要が20%減、0-64歳が46%減、75歳以上が2%増であり、地域内の医療機関の集約とネットワークの強化が必要であろう。また、東部Ⅰや南部Ⅰからの支援や連携の強化することにより医療機能を維持することが求められる。

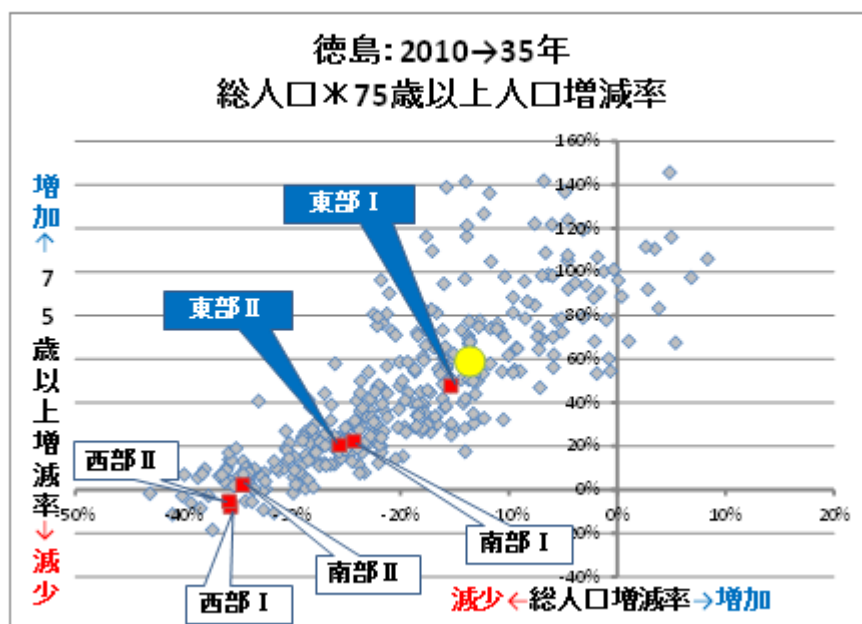
（西部Ⅰ、西部Ⅱ）

西部Ⅰ（美馬）、西部Ⅱ（三好）は、吉野川上流沿いに広がる徳島県の山間部に広がる医療圏である。これらの地域の偏差値は、病床数が（72）と（72）、一般病床数が（53）と（59）、病院勤務医が（47）と（47）、全身麻酔数（37）と（43）、総看護師数（60）と（68）であり、病床数と看護師数が多く、病院勤務医と全身麻酔数が少ない。2010→35年の医療の総需要が24%減と22%減、0-64歳が45%減と47%減、75歳以上が8%減と5%減であり、地域内の医療機関の集約とネットワークの強化が必要であろう。また、東部Ⅰや南部Ⅰからの支援や連携の強化することにより医療機能を維持することが求められる。

表 36-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
徳島県	785,491	44位	4,147	36位	189.4		25%	-21%	29%
東部Ⅰ	457,675	58%	681	16%	671.9	地方都市型	24%	-15%	48%
東部Ⅱ	83,267	11%	335	8%	248.4	地方都市型	30%	-26%	20%
南部Ⅰ	133,543	17%	1,199	29%	111.4	過疎型	28%	-24%	22%
南部Ⅱ	23,037	3%	525	13%	43.9	過疎型	40%	-35%	2%
西部Ⅰ	42,974	5%	562	14%	76.4	過疎型	34%	-36%	-8%
西部Ⅱ	44,995	6%	844	20%	53.3	過疎型	35%	-36%	-5%

図 36-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）



高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012
 (A. 「医療提供体制の現状」、表36-1、表36-2、表36-5、図36-4)
 厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H.24.3
 (図36-5)

表 36-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
徳島県	15,895	1.0%	2,024	64	6,482	0.7%	825	55	13,501	1.0%	118	61
東部Ⅰ	9,809	62%	2,143	67	3,289	51%	719	50	6,709	50%	120	62
東部Ⅱ	1,461	9%	1,755	59	810	12%	973	61	1,735	13%	123	63
南部Ⅰ	2,121	13%	1,588	56	1,385	21%	1,037	63	2,177	16%	106	55
南部Ⅱ	390	2%	1,693	58	238	4%	1,033	63	710	5%	138	71
西部Ⅰ	1,033	6%	2,404	72	342	5%	796	53	945	7%	107	56
西部Ⅱ	1,081	7%	2,402	72	418	6%	929	59	1,225	9%	125	64

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 36-2 病床数(人口10万当たり)、総高齢者ベッド数(75歳以上1,000人当たり)

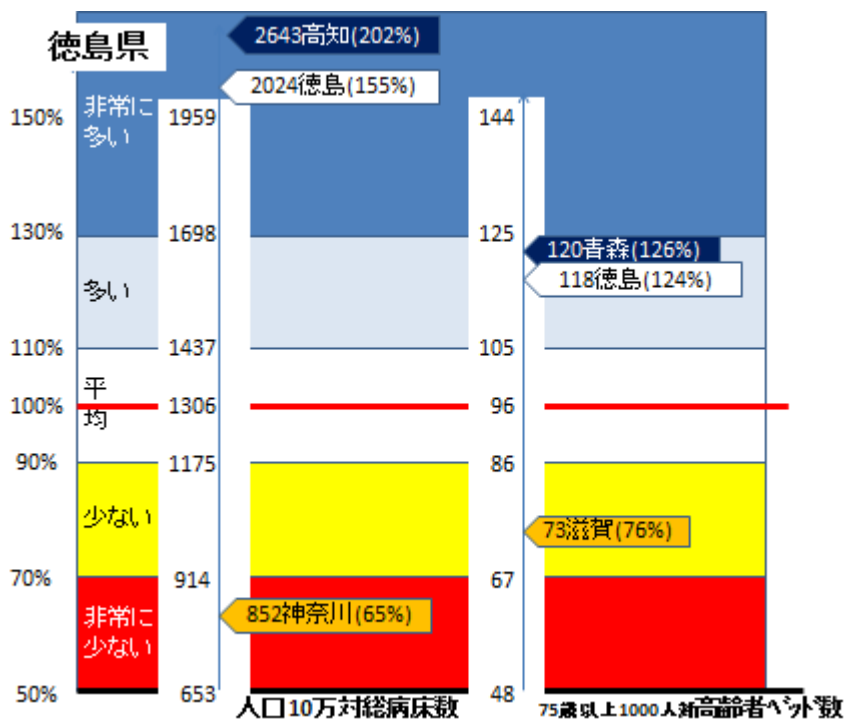


表 36-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
徳島県	4,608	1.4%	587	66	715	1.2%	91	60	3,978	1.1%	506	61
東部Ⅰ	3,183	69%	695	71	378	53%	83	58	2,879	72%	629	67
東部Ⅱ	474	10%	569	65	177	25%	213	87		0%	0	37
南部Ⅰ	465	10%	348	54	132	18%	99	61	139	3%	104	42
南部Ⅱ		0%	0	37		0%	0	39	144	4%	625	67
西部Ⅰ	187	4%	435	58	28	4%	65	54	476	12%	1,108	90
西部Ⅱ	299	6%	665	69		0%	0	39	340	9%	756	73

表 36-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
徳島県	3	1.5%	3.8	59	4	1.1%	5.1	56	1,065	1.2%	136	67
東部Ⅰ	1	33%	2.2	52	3	75%	6.6	60	656	62%	143	70
東部Ⅱ	0	0%	0	43	0	0%	0	42	139	13%	167	76
南部Ⅰ	1	33%	7.5	74	1	25%	7.5	63	162	15%	121	64
南部Ⅱ	0	0%	0	43	0	0%	0	42	9	1%	39	42
西部Ⅰ	0	0%	0	43	0	0%	0	42	52	5%	121	64
西部Ⅱ	1	33%	22.2	135	0	0%	0	42	47	4%	104	59

表 36-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数				総看護師数				全身麻酔件数			
	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
徳島県	1,141	0.7%	145	54	7,361	0.9%	937	63	12,604	0.7%	1,605	53
東部Ⅰ	718	63%	157	56	4,391	60%	959	64	8,218	65%	1,796	55
東部Ⅱ	80	7%	96	45	711	10%	854	59	0	0%	0	32
南部Ⅰ	230	20%	172	59	1,232	17%	922	62	3,866	31%	2,895	69
南部Ⅱ	20	2%	87	43	179	2%	775	55	18	0%	78	33
西部Ⅰ	45	4%	105	47	377	5%	878	60	140	1%	326	37
西部Ⅱ	48	4%	107	47	471	6%	1,048	68	362	3%	805	43

図 36-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

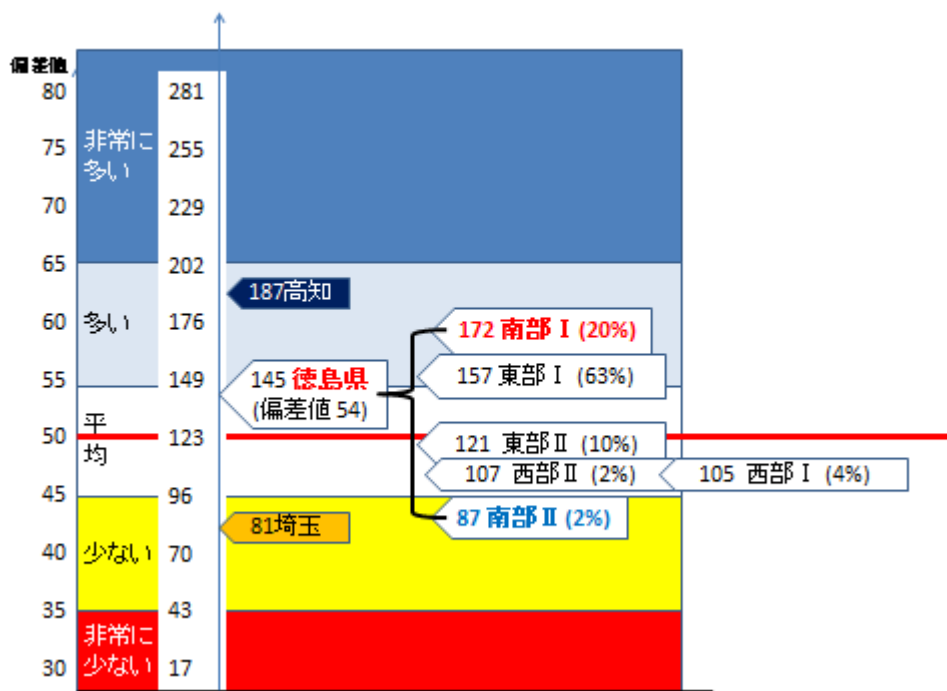


図 36-4 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数

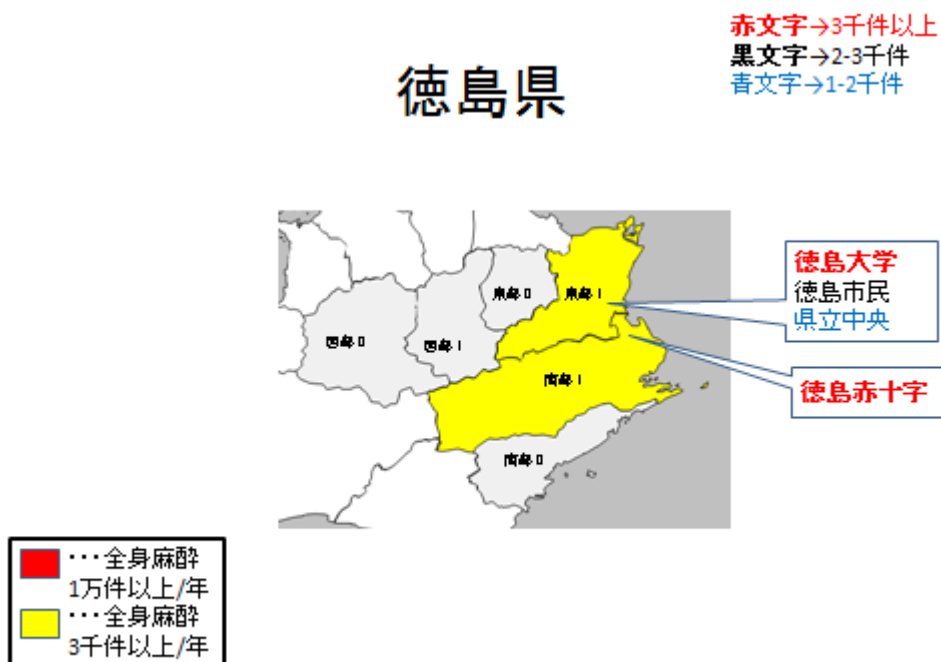


図 36-5 二次医療圏（流入出）

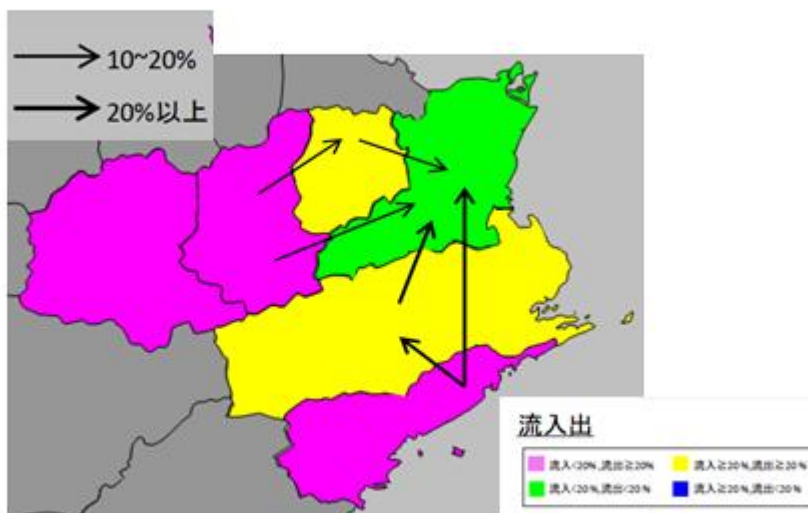


表 36-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
徳島県	7,281	1.0%	64	62	4,025	1.3%	35	74	3,256	0.8%	29	50
東部Ⅰ	3,309	45%	59	58	2,054	51%	37	77	1,255	39%	23	44
東部Ⅱ	914	13%	65	63	474	12%	34	71	440	14%	31	53
南部Ⅰ	1,305	18%	64	62	614	15%	30	64	691	21%	34	56
南部Ⅱ	407	6%	79	75	192	5%	37	77	215	7%	42	63
西部Ⅰ	617	8%	70	67	342	8%	39	80	275	8%	31	53
西部Ⅱ	729	10%	75	71	349	9%	36	75	380	12%	39	61

表 36-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者住宅数				有料老人ホーム				グループホーム			
	高齢者住宅数合計	全国シェア 県内シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人ホーム計	全国シェア 県内シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループホーム	全国シェア 県内シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
徳島県	6,220	1.0%	55	55	891	0.4%	7.8	42	2,234	1.4%	19.6	64
東部Ⅰ	3,400	55%	61	59	630	71%	11.3	45	1,221	55%	21.9	68
東部Ⅱ	821	13%	58	57	88	10%	6.2	40	297	13%	21.1	66
南部Ⅰ	872	14%	43	48	36	4%	1.8	36	306	14%	14.9	56
南部Ⅱ	303	5%	59	57	31	3%	6.0	40	90	4%	17.5	60
西部Ⅰ	328	5%	37	45	52	6%	5.9	40	126	6%	14.3	55
西部Ⅱ	496	8%	51	53	54	6%	5.5	40	194	9%	19.8	64

表 36-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域区分	2010→35 総医療 需要	2010→35年の医療需要予測				2010→35 総介護 需要
			2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
徳島県		-3%	-32%	-15%	-26%	29%	24%
東部Ⅰ	2	6%	-27%	-5%	-19%	48%	41%
東部Ⅱ	2	-7%	-38%	-20%	-31%	20%	16%
南部Ⅰ	3	-8%	-34%	-26%	-31%	22%	17%
南部Ⅱ	3	-20%	-46%	-41%	-44%	2%	-2%
西部Ⅰ	3	-24%	-45%	-33%	-40%	-8%	-10%
西部Ⅱ	3	-22%	-47%	-32%	-41%	-5%	-8%

図 36-6 徳島県 2010 年→35 年介護医療需要の増減予測

